

農業者の意見・要望

- ① 農地等利用最適化推進施策の改善
- ② 2021年産米概算金下落の影響緩和について
郡山市へ意見書を提出します



ターゲット 2.4

令和3年9月28日

農業委員会事務局

局長 三瓶 克宏

TEL: 924-2481

SDGs ターゲット 2.4 「持続可能な食料生産システムを確保し、強靱な農業を実践する」

郡山市農業委員会が、農地等の利用の最適化の推進に関し、郡山市へ意見書を提出します。

併せて、先般発表された2021年産米概算金の下落に伴う農家経済への影響緩和に関し、緊急意見書を提出します。

- 1 日 時 10月1日(金) 午後3時30分
- 2 場 所 市役所正庁(本庁舎2階)
- 3 出 席 者 郡山市農業委員会会長
郡山市農業委員会委員(19名)
郡山市農業委員会農地利用最適化推進委員(4名)
郡山市長
郡山市農林部長

4 意見の内容

(1) 令和4年度郡山市関係行政機関等に対する意見書

- ① 農業のDX化
- ② 農地利用集積・集約化対策
- ③ 遊休農地対策
- ④ 担い手の育成・支援
- ⑤ 農業振興対策

(2) 2021年産米概算金下落に伴う農家経済への影響緩和に関する緊急意見書

- ① 次年度の再生産に向け、2022年産用種子代への助成を行うこと
- ② 関係団体・業界等との連携により、「あさか舞」の消費拡大に一層努めること

<農業委員会から関係行政機関への意見の提出について>

郡山市農業委員会は、農業委員会等に関する法律第38条に基づき、農地等の利用の最適化の推進に関し、農業者の意見・要望を取りまとめ、各施策への反映に向け、毎年10月に関係行政機関等に対し意見書を提出しています。

今年は、2021年産米概算金の下落を受けて、農家経済への影響が懸念されることから、影響緩和に関する緊急意見書を併せて提出します。